



西桂町 議会だより

第19号

平成10年1月28日発行

ウォッチ ザ GI-KA-I

まちづくりは議会から



平成10年1月11日、西桂町消防団初出式

定例会	平成9年12月	西桂町議会議員、新年のあいさつ	2、3
		議案審査（連合審査会）と議会運営	2、3
		町長所信表明	4、5
		委員会所管事務調査（総務）	5、8
		一般質問（1名）	6、7
		ふるさと不思議発見（上町子供みこし）	9
		議会のうごき	10

議会を傍聴
しましょう



3階の議会事務局で受付
していただくと、誰でも
傍聴できます。



石原 滋 議長

新年明けましておめでと
うございます。町民の皆様
には輝かしい希望と期待を
もって新春を迎えられたこ
ととお慶び申し上げます。

新世紀の幕開けが間近に
迫り新たな時代を迎えよう
としているとき、地方分権
の推進、防災対策の強化、
産業振興、教育文化の充実、



前田 巳智男 副議長

新年明けまして おめでと うござい ます

町民の皆様、平成10年の
新春を迎え、お慶び申し上
げます。「1年の計は元旦
にあり」とは古い言葉です
が、昨年と今年は一瞬の継
続です。私たちは目先のこ
とにとらわれがちです。こ

道路体系の整備、また昨年
12月国会において法案が成
立しました介護保険料等、
いずれもゆるがせに出来な
い大きな課題が山積してお

り、私共はこれらの諸課題
に向けて積極的に対処して
いく責務があると認識して
おります。前田町長が提唱
してまいります活・活西桂の
進展を注視し、町民全てが
幸せを享受できる豊かな住
みよい町づくりを目指して
創意工夫を重ね、町民皆様
のご期待に応えるよう決意

の区切りの時に昨年を振り
返り新年の計画を立てるこ
とは重要なことと思えます。
昨年も激動の1年でした。
重大な出来事が起こり、そ
れがそのまま私たちの生活
の周辺にまで影響を及ぼし
てきました。昨年1月2日
鳥根県沖日本海でロシア船
籍タンカーが沈没し、重油
回収のため大勢のボランティアの
尊い活躍を見ました。

を新たにしております。今
後とも民主的かつ公平で円
滑な議会運営を心がけ、町
議会の歴史の中で先輩議員
が築き上げてこられた議会
の権威をますます高めてま
いりますと共に、町民の皆
様に親しまれる開かれた議
会を目指して努力をいたし
てまいる覚悟であります。

今後とも格段のご指導ご
協力を賜りますよう心から
お願い申し上げます、町民の皆
様のご多幸とご健勝を祈
念申し上げます、新年のごあい
さつといたします。

世相は銀行・証券会社等の
金融破綻、景気低速、暗い
話題が多かった訳ですが、
県内関係者でサッカーW杯
出場の原動力となった中田
選手、スベースシャトルで
宇宙遊泳を果たした土井飛
行士の快挙も少ない明るい
話題でした。

最後に本年が皆様にとつ
て良い年でありますように
お祈り申し上げます、新年のご
あいさつといたします。

議員・町長等の平成10年3月期末手当 引き上げを見送り、全議案を可決

連合審査会・議案審査

平成9年度一般会計第4号補正予算審査

概要説明 歳出の主な内容
は、小学校の通学路整備の
経費を追加、小・中学校と
保育所の3ヶ所にゴミステ
ーションを設置する予算計
上である。また桜の里づく
り事業で変更が生じ追加し、
乳幼児医療費助成事業に関
し疾病の状況により増額と
なり追加し、老人ホーム措
置費助成を追加計上する。

問 土木費道路橋梁費、桂
川管理道の整備に伴い、町
道小沼中央線より桂川管理
道へ小学校通学路を変更す
るための条件整備は。

答 高齡化の今日、貸し出
し希望者は増加傾向にある。
町有のベットを増やし、自
前購入や使用済み療養ベッ
トの寄付など協力をお願い
する必要があるのでは。

問 住民福祉課 現在の貸し出
し者は19名で、うち町有分
のベットで11名、リースで
8名となっている。

問 高齡化の今日、貸し出
し希望者は増加傾向にある。
町有のベットを増やし、自
前購入や使用済み療養ベッ
トの寄付など協力をお願い
する必要があるのでは。

問 住民福祉課 今回の補正で
国民健康保険会計予算によ
る購入を計画している。年
次計画で増やしていきたい。
来年度は三ツ峠ライオンズ
クラブからの寄付も見込ま
れる等、協力を呼びかけた
い。今後は希望者に対して、
所得審査などにより貸し出
し決定を検討したい。

通学路への進入路整備は 平成10年度に事業化

教育長 学校、保護者とも
通学路変更を望んでいる。
今回、通学路への進入路確
保のための土地買収費と出
口通路の敷地境界確認のた
めの測量設計委託料を計上
した。平成10年度当初予算

謹賀新年

平成10年



滝口憲一 議員



永田富幸 議員



高尾活式 議員



高尾嘉一 議員



小林隆芳 議員



渡辺英一郎 議員



小山忠男 議員



梅原啓一 議員



牛田 茂 議員

今年も町勢発展のため
議員一同がんばります

平成9年度の各会計補正額

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の予算総額	歳出内容説明
議案53 一般会計4号補正	2千587万0	19億4千482万6	別記、職員人件費追加
議案54 国民健康保険会計1号補正	119万7	2億7千325万4	職員人件費、介護用ベット購入費等追加
議案55 グリーンセンター会計1号補正	20万8	2千990万7	臨時職員賃金減額、職員人件費追加
議案56 簡易水道会計2号補正	29万7	6千475万6	職員人件費追加
議案57 下水道会計2号補正	76万1	2億4千107万6	職員人件費追加

12月定例会日程

- 10日 議会運営委員会
- ◆ 運営方法決定
- 15日 本会議開会
- ◆ 会議録署名議員指名
- ◆ 会期の決定
- ◆ 閉会中の委員会継続調査報告(総務委員会)
- ◆ 町長所信表明
- ◆ 町長議案一括上程(議案51、57)
- 一括説明・一括質疑
- 各常任委員会付託
- 本会議散会
- 連合審査会
- ◆ 付託議案審査
- 19日 本会議再開
- ◆ 付託議案総務委員長報告(議案51、53、55)
- 一括質疑・討論・採決
- ◆ 付託議案建設文教委員長報告(議案52、56、57)
- 一括質疑・討論・採決
- ◆ 町長議案一括上程(議案58、60)
- 一括説明・一括質疑
- 総務委員会付託
- ◆ 議員発議上程(発議7)
- 説明・質疑
- 総務委員会付託
- 本会議休憩
- 連合審査会
- ◆ 付託議案審査
- 本会議再開
- ◆ 付託議案総務委員長報告(議案58、60、発議7)
- 一括質疑・討論・採決
- ◆ 一般質問(牛田茂議員)

- ◆ 閉会中の委員会継続調査議決(総務委員会、建設文教委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会)
- 本会議閉会

審議案件

- 【案例】5件
- 議案51 西桂町国民健康保険条例の一部改正
- 県の指導により、災害等による生活困窮者への国民健康保険税の減免規定の改正
- 議案52 西桂町営住宅管理條例の全部改正
- 公営住宅法の一部改正に伴い、入居者資格、家賃制度、公営住宅の供給方式等について改善を行う改正
- 議案58 西桂町職員給与条例の一部改正
- 県の指導により、町職員給与を改正する
- 議案59 西桂町長等の給与及び旅費条例の一部改正
- 平成10年3月支給の期末手当に限り、町長、収入役は据え置く改正
- 議案60 西桂町教育長の給与等及び旅費に関する条例の一部改正
- 町長、収入役と同様に、期末手当を据え置く改正
- 【議員発議】1件
- 発議7 西桂町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 平成10年3月支給の期末手当に限り、据え置く改正

地方分権の時代、責任を自覚し事の執行にあたる

ミニサッカー場造成・護岸工事着手柄杓流河川公園・県へ移管終了富士吉田西桂線

前田町長
所信表明

12月定例会本会議



グリーンセンター横ミニサッカー場予定地

平成9年12月定例会議の開会にあたり、所信の一端を述べ、活活西桂の建設のため、議員及び町民各位にご理解ご協力を賜りたいと存じます。

我が国の経済情勢は、長引く景気低迷により政府の税収の落ち込みや緊急経済対策による新たな歳出増は、地方交付税に少なからず影響を及ぼし、国費負担を地方や国民に転嫁する種々の制度改正にも拍車がかかりかねないと危惧するところがあります。また、金融機関の相次ぐ破綻は、日本版ビッグバンの幕開けを目前に、不安心理を助長するものとなってしまいました。今後規制緩和が進むにつれて、地方公共団体においても地方分権の代償として、

責任は我に帰属するものと自覚し、事の執行にあたらねばならないものと認識しております。私においては、活力あるまちづくり・心の豊かさが享受できるまちづくりを目指して活活西桂を掲げ、平成9年度もその実現に向けて取り組んでまいりました。三ツ峠周辺整備における事業展開や県道富士吉田西桂線など数々の局面において議員、住民各位から後押しとなるお力添いをいただき、誠に感謝に堪えない次第であります。

ではこれより活活西桂建設のための執行状況について申し上げます。

《三ツ峠周辺整備事業》
まず桜の里づくり事業は平成8年度に憩いの森に若干の桜植栽を行いました。本格的な植栽については平成9年10年度の2ヶ年に渡って実施する計画で、本年度は、去る11月30日に多くの町民の参加をいただくなかで植樹祭として実施することができました。三ツ峠グリーンセンター横の農村公園から憩いの森公園までの延長約2kmに、桜、もみじ等の低木類、合計2千本を植栽いたしました。本年度においても更に植樹を行い、三ツ峠の豊かな自然と美しい景観を助長させ、事業効果を高めてまいりたいと考えております。土地所有者、関係各位のご協力に心より感謝申し上げます。第であります。

《ミニサッカー場建設》
現在、造成工事に着手したところであります。

《仮称柄杓流河川公園》

都留土木事務所において、護岸改修工事に着手しました。

た。またオートキャンプ場建設予定地の左岸側についても、都留土木事務所より、



平成9年11月30日実施、第2回植樹祭

(調査) 三ツ峠周辺整備事業・アクセス道路計画の進捗状況は

(結果) 憩いの森公衆トイレ移転へ・各計画の甘さを指摘

オートキャンプ場計画、 柄杓流川公園建設

企画振興課概要説明 オートキャンプ場予定地の河川改修工事は、都留土木事務所より、平成9年度中に護岸改修工事を実施する回答を得た。敷地内の大蔵省管轄の国有地は、町費をかけず、河川の敷地として建設省に移管した後、無償の使用貸借協定を結び利用したい。柄杓流川公園建設は、県事業として平成10年度より3ヶ年事業で、流路工及び護岸の整備と町道三ツ峠

2号線の拡幅を実施する。委員意見 失敗例も含め、先進地の施設調査を早急に実施し、事業計画に基づき概算収支報告書を作成し、報告されたい。オートキャンプ場、柄杓流川公園とも周辺に整備された堰堤があつても災害が起こる可能性があるため、上流部の整備を要望する。

憩いの森 公衆トイレの電力確保

企画振興課概要説明 関係地主の要望が実現困難なため交渉は打ち切りとした。

他の電力確保も検討したが実現が困難である。このため憩いの森公衆トイレを大沢公園下の柄杓流川公園等に移動を検討している。委員意見 事業化の段階での準備不足が原因で電力確保が出来なかつたため、今回の困難な状況が生じた。移動はやむをえない処置であるので、早急を実施していただきたい。

三ツ峠アクセス道路計画

企画振興課概要説明 トンネル案について3案の工事費は、共に10数億円が予想される。土地取得費は金額に入っていないため事業費は更に多くなる。これが最終案でなく、今後も検討する。委員意見 莫大な経費がかかるので、単なる道路整備では町民の理解は得られない。中学校裏山の開発と三ツ峠アクセス道路とをセットにして検討する必要性がある。

本年度中に護岸改修工事に着手予定と聞いております。

《県道富士吉田西桂線》

長年に渡り懸案の県道の路線認定、区域決定、供用開始につきましては、平成9年11月17日付けで山梨県告示となり、年内には確定の運びとなりました。供用開始となる道路の区間については、上町地区の米倉から倉見地区の中央道沿いを柿園地区の四方内までの間であり、延長約3千200mであります。この区間の町道は、山梨県管理の県道となります。県道の整備及びルート変更等の今後の対応については、地元地区の方々と地元の議会議員で道路建設相談員となつていただき、3月末までに体制を整えていきたいと考えております。

《庁舎、東別館、 上町公民館の改修》

ご利用いただく町民各位、議員各位、関係者には、大変ご迷惑をおかけいたしました。庁舎については約3千800万円をかけて、10月6日に完成しました。庁舎東別館については、約1千200万円をかけて11月19日に完成し、1階を倉庫、2階を主に町史編纂室として供用を開始しております。上町公民館は、約3千200万円を10月30日に完成いたしました。

《OA化の推進》

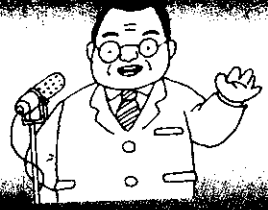
OA化推進については、西桂町行政改革大綱に掲げられた行政課題であり、平成9年3月のパソコンの第1次配備、10月末の第2次

《防犯灯の設置》

各地区の主要道路では、12月中に本年分工事を終了予定です。設置の全体計画では、次年度を最終年度とします。



移転を検討、憩いの森公衆トイレ（右側擬岩）



町政を問う ここが聞きたい!!

問

三ツ峠アクセス道路建設費用がかかりすぎるのでは

答

ルートを検討し、調査を重ね10億円以内で事業化したい



牛田 茂 議員

問

三ツ峠アクセス道路計画においては工事費のみで、1案については約14億円、2案は13億8千万、3案は19億とされ、障害物として2案は町営住宅2棟、集会所1棟、終点部民家及び物置とあり、3案には終点部民家物置・墓地、1案が終点部民家物置と聞いている。

1案を視野の中で仮算定すると、土地購入、民家物置等の保障で約5億円と合計約20億からなる予算が算定される事業と思われる。大きな財源が必要な事業であり、後々の子孫につけが

回らない施策を講ずる必要がある。

町長

仮称小沼三ツ峠線アクセス道路については、町の唯一の観光資源である三ツ峠周辺地域への快適な交通アクセスのため、また下暮地区住民の生活道路として必要不可欠と判断している。委員会事務調査において、担当課より数案を説明したが、この事業の執行に当たっては大変な経費がかかるわけで、さらに別のルートについても早急に検討するよう担当課に指示したところである。

問

昨年9月の総務委員会では町長は、この道路計画はおおむね10億円くらいを想定され、補助金を5億、町の持ち出し金額が5億円くらいであれば事業



仮称柄杓流河川公園予定地（右側土手下）

町長

20億円という数字を企画振興課で発表したが、5案の内3案の数字である。私はあくまでも10億以下でのルートを検討している。それには地質調査が済まなければ数字が出てこない。岩盤が多いと思われる、10億円以下になると考えているが結果がでるまでお待ち願いたい。

柄杓流河川公園などの新規の公園はもう要らないのでは

柄杓流河川公園は他施設との相乗効果が期待出来る

問

答

問

現在憩いの森、郷土公園等、小さくはランランランド、桂川大橋各公園があり、柿の木公園の完成年度も間近である。

柄杓流河川公園については町の総人口4千900名での新規公園計画が適切であるのか、更なる検討が必要ではないか。

町長

仮称柄杓流河川公園については、私は三ツ峠周辺整備事業計画の中で生き物ふれあいゾーンとして、大沢公園と仮称柄杓流河川公園を位置づけ、オートキャンプ場の付属施設としての多くの利用者が見込まれることから、関係機関に強く要望している。現在工事に着手しており、事業執行については、町の要望も多く取り入れていただいている。平成10年度以降の事業についても、町内外の利用者が安全で利用しやすい公園を作っていたために、さらに関係機関に対し強く要望してまいりる所存である。

今後の新規公園建設については既存の公園の利用状況等を踏まえ、慎重に検討していく。

厳しい社会状況下、凍結も含めて
中学校裏山開発計画の再検討を

町の活性化のため開発は必要
開発費負担は土地売却による

問 国・県では時代的課題に対応し必要度に

基づく取捨選択を実施すべく路線の転換を図っている。大月市JＲ猿橋駅裏山の開発事業、都留市宝地区の住宅開発促進事業、富士吉田市の繊維産業の工業団地造

成のストップ、それぞれの事業が完成後入居が促進されていない現状を見る中で、開発事業がいかに困難な事業であるかを感じる。

中学校裏山開発計画について、3万坪で仮算定をすると緑地帯道路で20%が利用されると思われる。土地及び造成費で10から15億以上の予算も想定され、予想第1工区においては景観上からもスポーツ施設・企業誘致が危惧される。更に検討され、計画事業の凍結、あるいは断念も視野に対策を講じていただけるか、町長のご所見を伺う。

町長 現在、企画振興課において基本構想・基本計画の素案を作成中である。私としては今後地質調査等を実施する中で、調査結果を見ながら慎重に実施していきたい。

問 都市住民との交流のためのスポーツレクレーション施設、優良企業の誘致雇用機会の拡大等を図る構想であるが、県の米

倉山の開発では厳しい状況下の中で対象職種を製造業まで広げ、山梨ビジネスパークにおいては分譲価格を引き下げの方針も固めたということである。その中でスポーツレクレーション施設についてはグリーンセンター全体を見直し、検討され有効利用の必要があるのではないかと感じる。経費をかけないで町長が提案するスポーツゾーンもその地域に出来るのでは。

町長 牛田議員の指摘は支出のみで、売却収入が入っていない。あくまでも公共用地を残して収支均等が取れるようにしたい。またグリーンセンターの周辺の遊休地またテニスコートについては、周辺にオートキャンプとかミニサッカー場が出来て、状況を見てその段階で検討したい。

私としては決定をしているわけではなく、構想の段階である。開発による町の活性化、また財政収入を図っていききたい。



オートキャンプ場予定地

県オートキャンプ場調査のみでは
事前調査が甘いのでは

都市住民との交流の場となる施設
複数の施設を調査した結果である

問

答

委員会によるオートキャンプ場計画の進捗状況の説明によると、県営丘の公園を視野におき4

月から11月までで延べ96

0台とし、当町の予定数は3分の1の300台とした計画説明は事前調査の甘さを指摘せざるを得ない。丘の公園の景観と当地山間の景観との異差・格差の評価では調査不足と言わざるを得ないものである。

町長 週休二日制・夏期休暇制度の普及やマイカーの普及など社会的な要因と若者の野外活動指向の高まりにより、自然体験施設として、また都市住民と地域住民との交流の場となる計画である。ご指摘の事前調査の件は、複数の施設を調査し、当町の年間稼働見込みを試算した結果と自負している。

私が提唱している活・活西桂建設の重点施策に位置づけた三ツ峠周辺整備事業の中でも中核をなす事業で、ミニサッカー場・桜の里、仮称杓柄流河川公園等との複合的利用により、三ツ峠グリーンセンターが活性化

するものとして取り組んでいるところである。



開発が検討される中学校裏山

(調査) 三ツ峠グリーンセンター事業の現状は

(結果) テニス利用や水販売の減少等、業績は悪化している。

センター所長説明 剣道合宿が宿泊・食堂・武道館の利用に影響し、平成9年度については宿泊及び食堂収入が例年に比べて低く推移している。武道館は7月、8月について利用が多いが、それ以外の月は町内の方が利用している。研修棟は町内の会社・団体が利用している。パーベキュー場は近年徐々に減っている。水の販売については約半分に減少し、テニスコート利用においても3分の2に減

グリーンセンターの業績は悪化しており、早急な見直しが必要である。事業の展開にあたってはテニスコートの利用変更も視野に入れて、町民の希望をよく聞いて住民福祉に寄与する方向で取り組まれない。

また委員より「食堂経費の明細の再提出、バスターミナル等への広告掲載等、PRの強化に努め、また町民体育館の検討をお願いしたい。」との意見が出ている。



グリーンセンター研修棟にて委員会実施

少している。減少原因については、テニスコートは会社の福利厚生事業で使用したが不況による減少、また隣接市町村に利用客が流れた。水販売は卸については参入業者が増え、小売については送料が高いためである。問 食堂収入の経費について、光熱水費、人夫賃等があるが、明細を示されたい。また今年度武道館利用が大幅に伸びた理由は。センター答 経費については、歳出の賃金、需用費等に他の経費と一緒に示しているため、賄材料費のみ提示できる。武道館利用の伸びは今年度雑誌等に水・テ

ニスも含めて、PRの広告を出した影響と思う。委員意見 後日、歳出の食堂経費等事業別に明細をお知らせ願いたい。

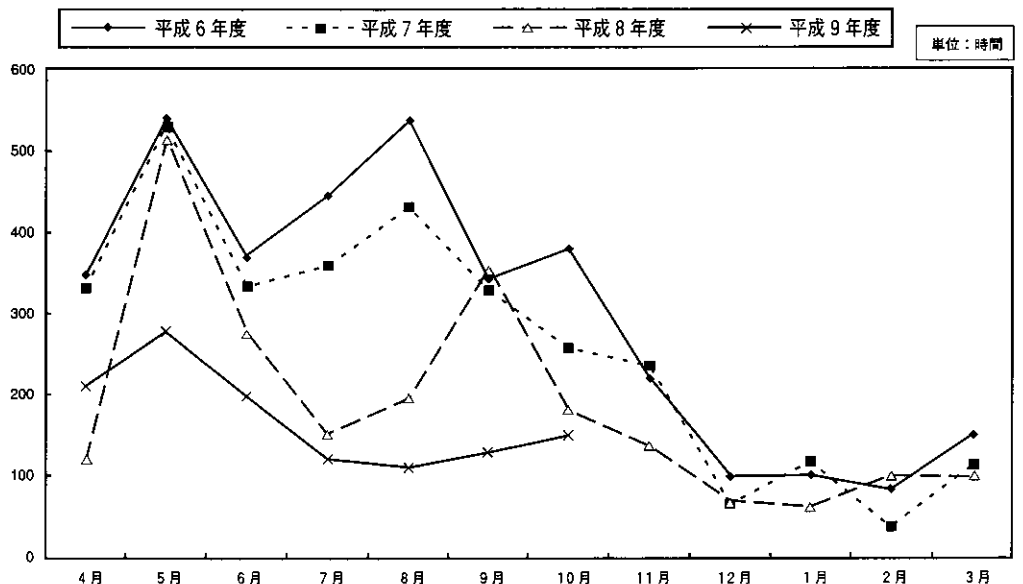
テニスコートの転用は

問 テニスコートについて他村の民宿のように、ミニサッカー場等への転用を考えたかどうか。

企画振興課答 ミニサッカー場建設が三ツ峠周辺整備事業の一環で行われるので、それらの利用状況等を踏まえ検討する。

委員意見 三ツ峠周辺事業及びグリーンセンター事業の展開にあたっては、テニスコートの利用変更も視野に入れ、町民の希望を聞き、住民福祉に寄与する方向で取り組んでいただきたい。問 都営バス、新宿バスターミナルへの広告掲載、大学のサークル等にPRを積極的にすべきである。センター答 専門誌4社へ広告を出した。都営バス、

テニスコート利用時間



バスターミナルへの広告掲載料は高いが、交渉してみたい。また大学は予算の範囲内で計画を考えたい。問 町内に民間業者が育つたので、町による水の販売は今後廃止の方向で検討が必要ではないか。センター答 町に4社できただけで、概ね、町の活性化につながったと考えている。現状では人件費を別にすれば赤字ではない。今後サー

上町子供みこし

(その2)

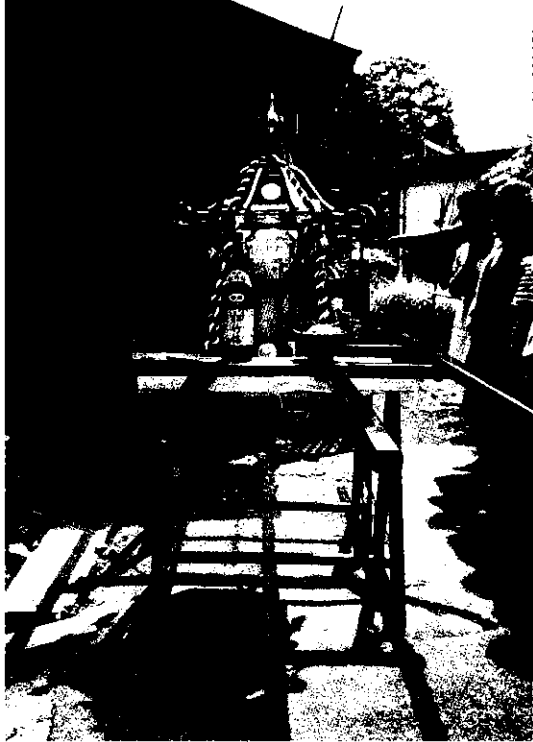
「上町子供みこし」とは

資料提供 上町区

上町区にあつては平成9年9月の秋祭りに地域の青年たちの手作り子供みこしの渡御が挙行され、多くの方の好評を博し新聞にも大きく取り上げられた事は周知のとおりであります。

上町子供みこしを

ふるさと作り、地域おこしという言葉の中で、町内



完成した上町子供みこし

の地区ごとに何台かの子供みこしが存在し、毎年子供たちの楽しい行事の一つとして地域の繁栄を祈願しての渡御が行われています。

上町区にあつてもこの子供みこしの実現を思いつつも果たせませんでした。しかし平成8年夏の事業別ソフトボール大会慰労会の席上、上町区の隣保組、浅間町の青年グループ全員で子供みこし共同制作の話が持ち上がりました。もちろん全員が仕事を持つ身であり素人であります。決定した以上完成まで全員に責任があります。

みこしは手作り

みこしの形は浅間神社と同形の八角みこし、資金は全員で出し合い、製作担当は白須良治君に決定しました。手始めは資材調達ですが平成8年11月中旬に全員で金銭も含めて調達し、以後白須君は勤めの傍ら黙々と完成を目指して取り組みました。翌9年桜咲く季節



大雨の中、元気に担ぐ子供たち

を迎えて小沼浅間神社の祭典の頃、子供みこし作りの作業も大部分が出来上がり、本体の色合わせ・ペンキ塗料、担ぎ棒の寸法と、白須君を中心に製作グループ全員が手を染めての作業が続きました。

みこしの休憩台も仕上がりに、飾り付けも始まり、日ごとにきれいになっていくみこしは、全員の苦勞を忘

れさせるとともに、完成への執念を感じました。

子供みこしは区に寄贈

上町区ではこの子供みこし受け入れについての話し合いが持たれ、上町区の管理下にある大神宮に子供みこしを寄贈してくれるよう、製作グループにお願いをしました。平成9年6月8日午後1時、旧上町公民館に

て子供みこし寄贈式が挙行され、上町区役員、上町の小中学校PTA・育成会役員の出席の中、浅間町組長を先頭に青年15名程より寄贈を受け、公民館に鎮座されました。地域の青年たちが7ヶ月をかけ完成させた手作りのみこしであり、大切に使用することを出席者全員で誓いました。

6月12日夜、上町区内の各種団体が出席して、氏子総代長のもと今後の運営方法、保存についての会議がもたれ、上町子供みこし保存会設立を決定、毎年9月15日の大神宮祭典で、渡御を行うこととなりました。

製作費用は材料・装具で12万円弱、青年たちの資金と浅間町を中心とした地域住民の寄付でまかない、白須君を中心とした制作にかかった労力は無償でした。将来ある子供たちのため、上町区の繁栄を祈願しての、50kgの八角形の手作り子供みこしは、上町区の尊い財産と言えるでしょう。

議会のうごき

10月

- 14日○山梨県町村議会議員
研修会（全議員）
- 15日○議会広報編集委員会
（委員・議長）
- 16日○高山良策展絵画コン
テスト審査会
（審査議員）
- 23日○議会広報編集委員会
（委員・議長）
- 27日○第4回富士北麓広域
行政研究会（役議員）

11月

- 2日○第3回高山良策絵画
展（全議員）
- 3日○西桂町民文化祭
（全議員）
- 4日○西桂町健康づくりの
つどい（全議員）
- 上町公民館カギ引き
渡し式（全議員）
- 7日○沖繩甲斐の塔慰霊巡
拜（議長、10日まで）
- 12日○議会運営委員研修



11月3日、町民文化祭



11月30日、桜の里づくり・第2回植樹祭



平成10年元旦、神社初詣マラソン

12月

- 13日○下水道審議会委員現
地視察（審議委員）
- 19日○町村議会議長全国大
会（議長）
- 20日○地方自治法施行50周
年記念式典（議長）
- 23日○県民の日富士吉田会
場記念式典（議長）
- 25日○県下8地域広域行政
研究会合同研修会
（役議員）
- 30日○桜の里づくり・植樹
祭（全議員）



平成10年1月、大雪の日の成人式

- 1日○市町村自治講演会
（正副議長）
- 5日○地方分権実現等全国
総決起大会（議長）
- 16日○住みよい社会を作る
郡内の集い（全議員）
- 24日○議会広報編集委員会
（委員・議長）
- 98・1月
- 1日○第16回町内一周神社
初詣マラソン（議長）
- 11日○消防初出式（役議員）
- 14日○議会広報編集委員会
（委員・議長）
- 15日○成人式（全議員）

編集メモ

新年明けましておめでと
うございます。平成10年の
新春を迎え、皆様におかれ
ましてはご家族と共に健康
やかに新年をお迎えになら
れたことと、心からお喜び
申し上げます。

今年、県内では早々に記
録的な大雪に見舞われ、各
地で交通機関の混乱、建物
の倒壊等、被害が続出しま
した。今更ながら自然界の
脅威を感じ、これもエルニ
ーニョ現象によるものでし
ょうか。一方、梅の開花が
南の方から聞かれます。春
の訪れが着実にきています。
議会だより第19号に「ふ
るさと不思議発見」を掲載
し、今回は「上町子供みこ
し」を取り上げました。上
町有志の皆様、大変ご苦勞
様でした。 永田

- | | |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 高尾 活式 |
| 副委員長 | 前田巳智男 |
| 委員 | 小山 忠男 |
| 委員 | 永田 富幸 |
| 委員 | 牛田 茂 |